

## 1. 本園の教育目標

幼児期にぜひ身につけて欲しい快活さ・大らかさ・のどかさ・好奇心を育て、自主的・協調性・創造性を伸ばしていく保育をキリスト教精神で行う。

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
幼稚園の教育課程の編成・実施に関して、教職員間の共通理解をはかる。	新教育要領の理解を全教職員で積極的に推進し、それを現実の保育に添わせるように、具体的な場面について話し合いを行っている。
教育要領、教育課程、子どもの実態などを基に考えて作成している。	毎年指導計画に加筆、訂正を行い、子どもの実態に即した内容にするよう努めている。
子どもの良さを認めて評価しようとしている。	一人ひとりの子どもの良さを保育者が認め、また園児同士がお互いの良さを認め合うことが出来るような配慮と援助に努め、そのことを保護者に伝えるようにしている。
遊びを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。	自分で工夫して遊び、それが発展して友だちと協力して遊べる環境を準備するようにしている。 運動遊びを充実し体力育成を図り、体を動かす楽しさを身につける。 体育遊びで身につけた活動を日々の保育の中に取り入れ体の各部分の成長発達に繋げる。
規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。	登園から降園までの1日の流れの中で、身に付けてほしい生活習慣の獲得を促している。
各研修会や研究会に積極的に参加する。	各研修会や研究会に参加して学んだことを資料にまとめ、職員間に提供し共有化を図り、保育内容の向上に努める。園内研修を実施する。
保護者に対して共感的な態度で接し、要望・苦情に適切な対応を図る	保護者との懇談会を定期的を実施するとともに、出された意見に対して、必要なものについては園の考え方を示し、改善すべきものは改善するように取り組みつつある。

## 4. 園の施設、設備、遊具等の安全点検

・遊具や設備及び避難用の滑り台については、安全を定期的に確認し、少しでも危険が予測される場合には速やかに改善している。(園庭のトンネル遊具の下にマットを設置した。)

・火災、災害時の発生に際して園児、職員はじめ園内の人々の安全を確保するために、通報、安全確保、避難、保護等の方法を定期的に確認している。地震の際の避難方法を話し合い、各保育室に非常持ち出し袋を設置し非常食、水の備蓄を行う。

・火災避難訓練は消防署立会いの下、年度内に1回実施した。又園内の火災や地震の避難訓練を毎月1回実施する。

・今年度幼稚園入り口の扉の交換を行った。

## 5. 今後取り組むべき課題

・食育教育における調理、配膳の重要性を保育の中に取り入れ、共に食事をする楽しさを伝えると共に成長の為に必要な栄養素など食事の重要性を考えるよう指導する。

・災害時の避難経路、安全確保についても更に認識を深める努力を行う。常に緊急時の情報収集に努める。自分の身体を自分で守るという自覚を持ち、素早く避難することを身につけさせる。

・未就園児保育の充実を図る。保育室の教材の点検と補充を行う。

・入り口インターホンの交換をする。防犯カメラについて考える。

## 6. 学校関係者評価委員会の評価 (平成29年3月19日実施)

学校関係者評価委員会構成	元大阪狭山市立第7小学校 平成28年度開花幼稚園保護者会 開花幼稚園卒業生	校長 花澤光正 会長 川端裕子 加藤 諒吾
評価結果	前向きに取り組み、改善に努めようとしている点が全体的に伺えるとの意見をいただいた。	

## 7. 財務状況

公認会計士より適正に処理されていると報告を受けている。